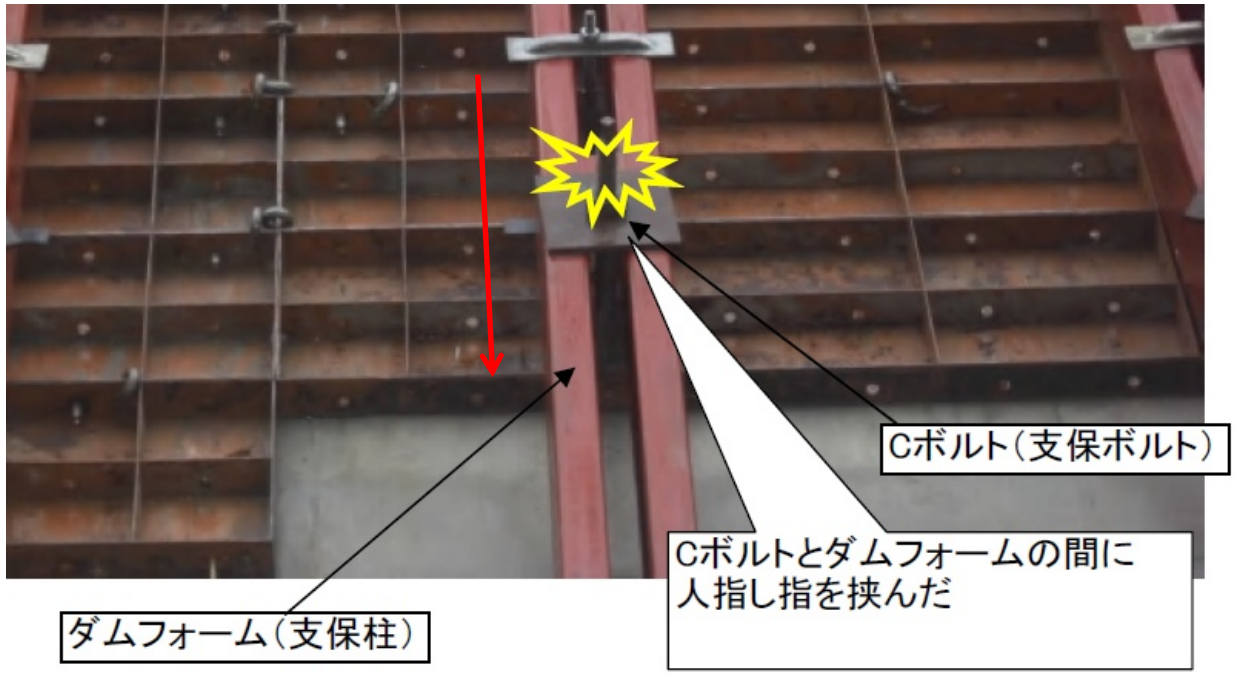
平成２２年度に建設工事で発生した事故事例　(挟み込みによる事故)

事故概要:
　型枠組立作業(上段へスライドするための型枠取り外し作業)時に、鋼製型枠支保柱を固定しているアンカーボルト(Cボルト)を緩め、残ったクリップを外したところ、支保柱が10cm程度下方へずれ落ちた。その際に作業員が支保柱に咄嗟に手を掛けたため、Cボルトと支保柱の接合用平鋼の間に手が挟まれ負傷した。

事故原因:
・躯体と型枠を分離させる際に作業員が脱型箇所に立ち入っていた
・咄嗟に支保柱に手を掛けてしまった

改善対策:
・作業手順書の見直し
・安全教育の徹底



分類:型枠工、組立

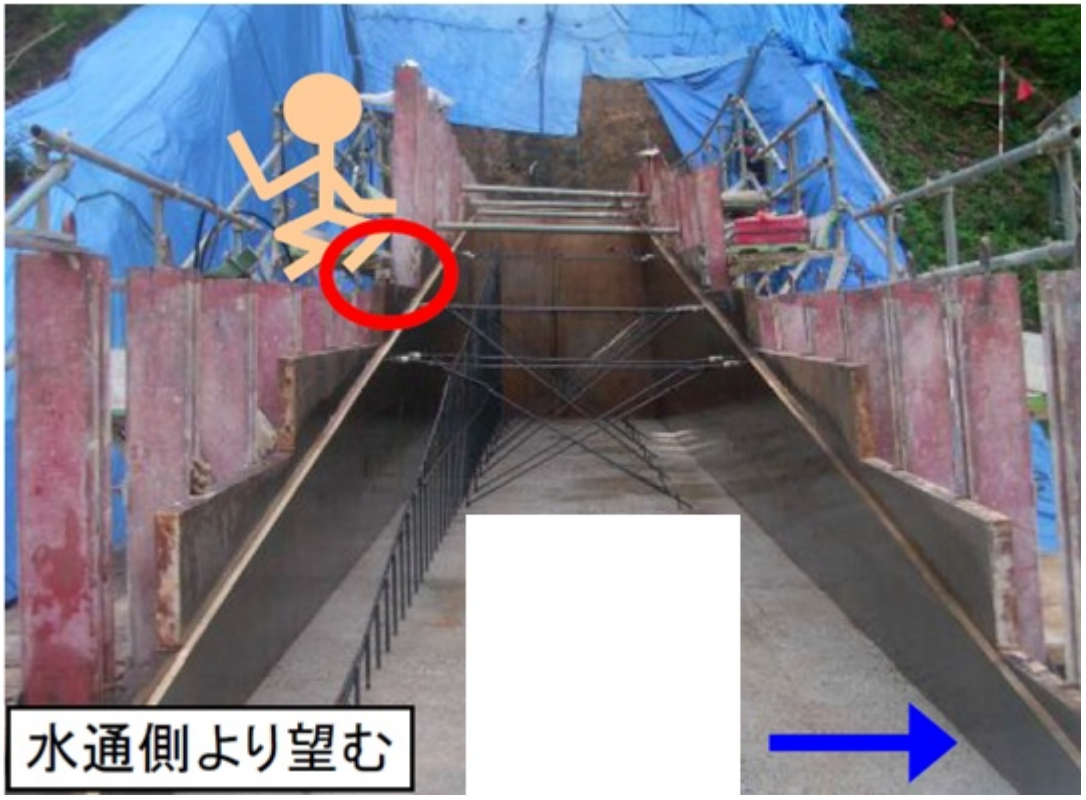
被害状況:(左示指基節骨開放骨折)

平成２３年度に建設工事で発生した事故事例　(工具･資材による事故)

事故概要:
　作業員が鋼製型枠の組立作業中に通り出し位置の修正を行うため、金槌を使っていたところ手元が狂ってはずれ、作業員自身の右下腿部を誤って強打した。

事故原因:
　作業員の作業ミスによるもの

改善対策:
　安全教育の徹底



分類:型枠工、組立

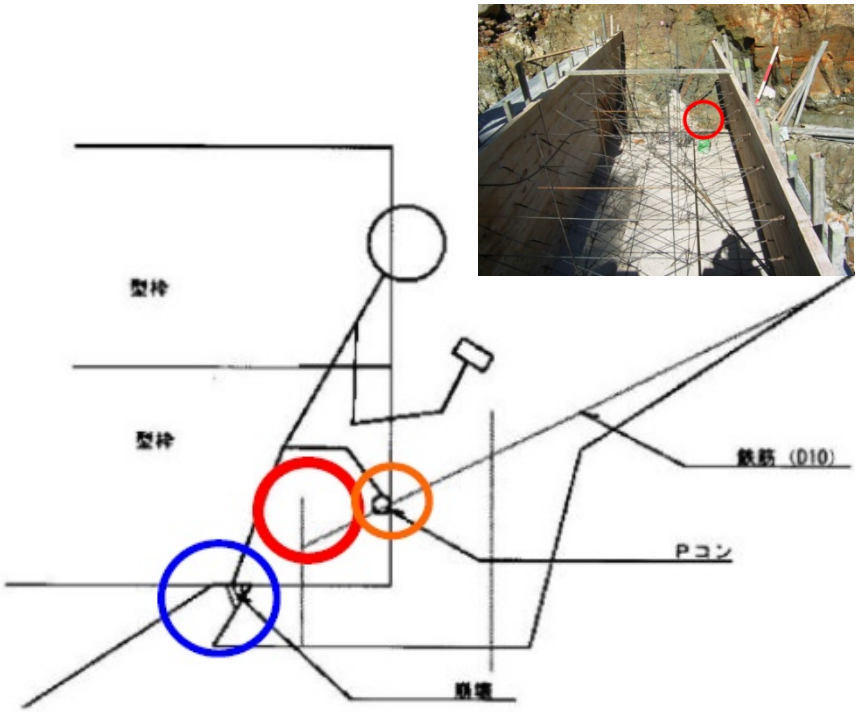
被害状況:3週間の治療(右下腿膿瘍、皮下血腫)

平成２３年度に建設工事で発生した事故事例　(その他の事故)

事故概要:
　型枠組立作業において、型枠を固定するための控え用鉄筋を底面地山に打ち込む作業を実施していたところ、左足側の地山が崩れ、またいでいた鉄筋に座る様な状態になり、右大腿部に鉄筋が刺さり負傷した。

事故原因:
・不安定な足場で作業していた
・鉄筋の端部がむき出しの状態だった

改善対策:
・足場が不安定な箇所では足場等安全設備を設置
・鉄筋の端部にキャップを被せ、コンクリート打設直前まで取らない



分類:型枠工、組立

被害状況:１０日間の加療(右大腿挫滅創)

平成２５年度に建設工事で発生した事故事例　(工具･資材による事故)

事故概要:
　コンクリート路面工端型枠設置に必要な引張りアンカー用の鉄筋打ち込み時に、削孔した穴に溜まった水が飛び跳ねるのをきらい、左足で鉄筋を支えつつ穴を塞いで打ち込みしていたところ、手元が狂い石頭ハンマーで足を叩き負傷した。

事故原因:
　作業員の危機管理意識の不足

改善対策:
　危機管理意識の徹底

分類:型枠工、組立

被害状況:(左手舟状骨骨折、右膝部挫傷)

平成２６年度に建設工事で発生した事故事例　(墜落･転落による事故)

事故概要:
　洪水吐の断面に目地材を設置するため、清掃しようと型枠から飛び出していた桟木に手(足)を掛けたところ、木材が折れたため1.5m程度の高さから転落し負傷した

事故原因:
･桟木に手(足)を掛けた
･経験の浅い作業員へ事前に作業の注意点を指導しなかった

改善対策:
･断面部に足場を設置する
･安全教育の徹底

分類:型枠工、組立

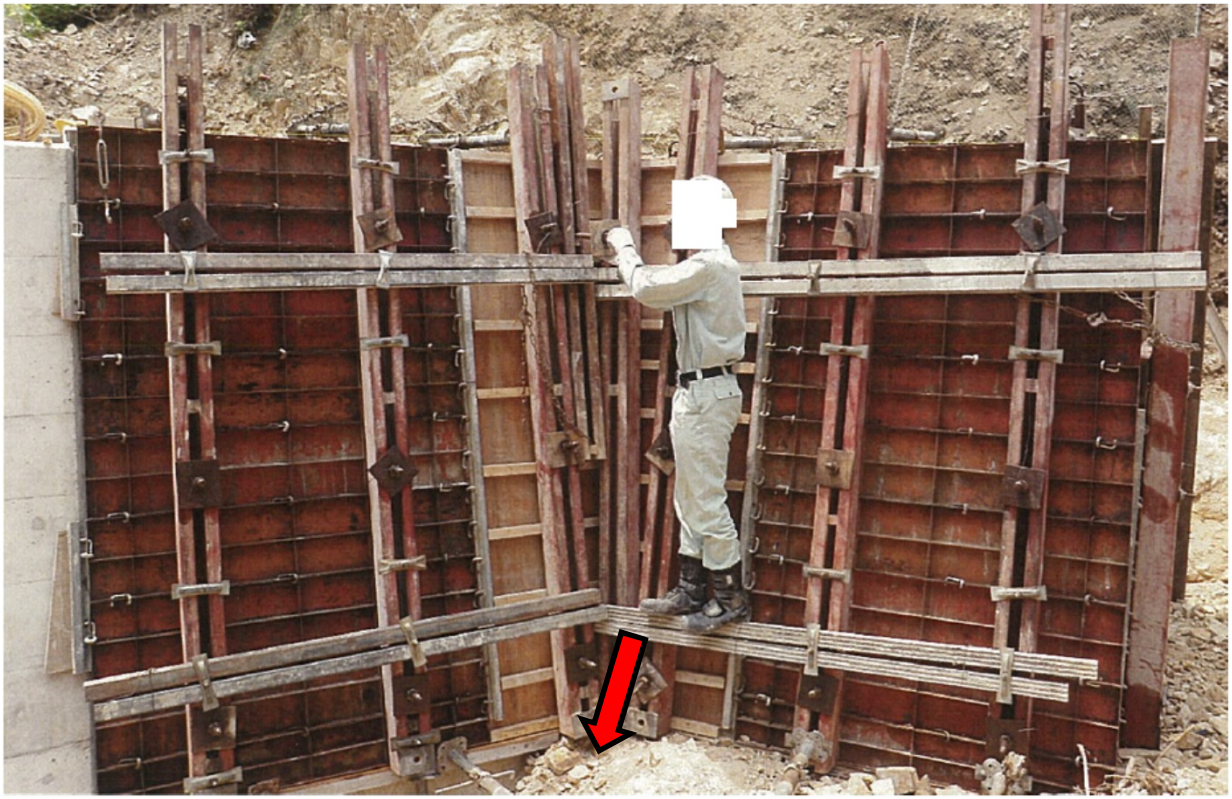
被害状況:4週間の安静治療(外傷性くも膜下出血、脳挫傷)

平成２７年度に建設工事で発生した事故事例　(墜落･転落による事故)

事故概要:
　型枠組立作業において、地表より５０ｃｍの鋼管上で型枠用固定金具を取り付けていたところ、左足が滑ってバランスを崩し誤って転落し負傷した

事故原因:
･高さが５０ｃｍと低いことと、固定金具が軽量であるため危険性はないと過信した

改善対策:
･安全教育の徹底



分類:型枠工、組立

被害状況:３か月間の加療(外傷性頸髄損傷、四肢麻痺)

平成２６年度に建設工事で発生した事故事例　(工具･資材による事故)

事故概要:
　型枠組立作業のため、丸ノコで切断し、丸ノコを持ったまま次の作業に移ろうと丸ノコを引き上げた際に、丸鋸の刃先から取っ手にかけて備えられた安全保護カバーが、切断後に自動で戻るはずが戻らなかったため、作業ズボンに刃が絡まり、右足膝下を負傷した

事故原因:
･丸ノコの保護カバー収納部分に溜まった切りくずの除去を怠った
･刃の回転が停止していない状態で移動しようとした

改善対策:
･安全教育の徹底
･取扱説明書の安全上の注意事項を熟読させ遵守させる

分類:型枠工、組立

被害状況: 2週間の加療(右足膝下切傷)